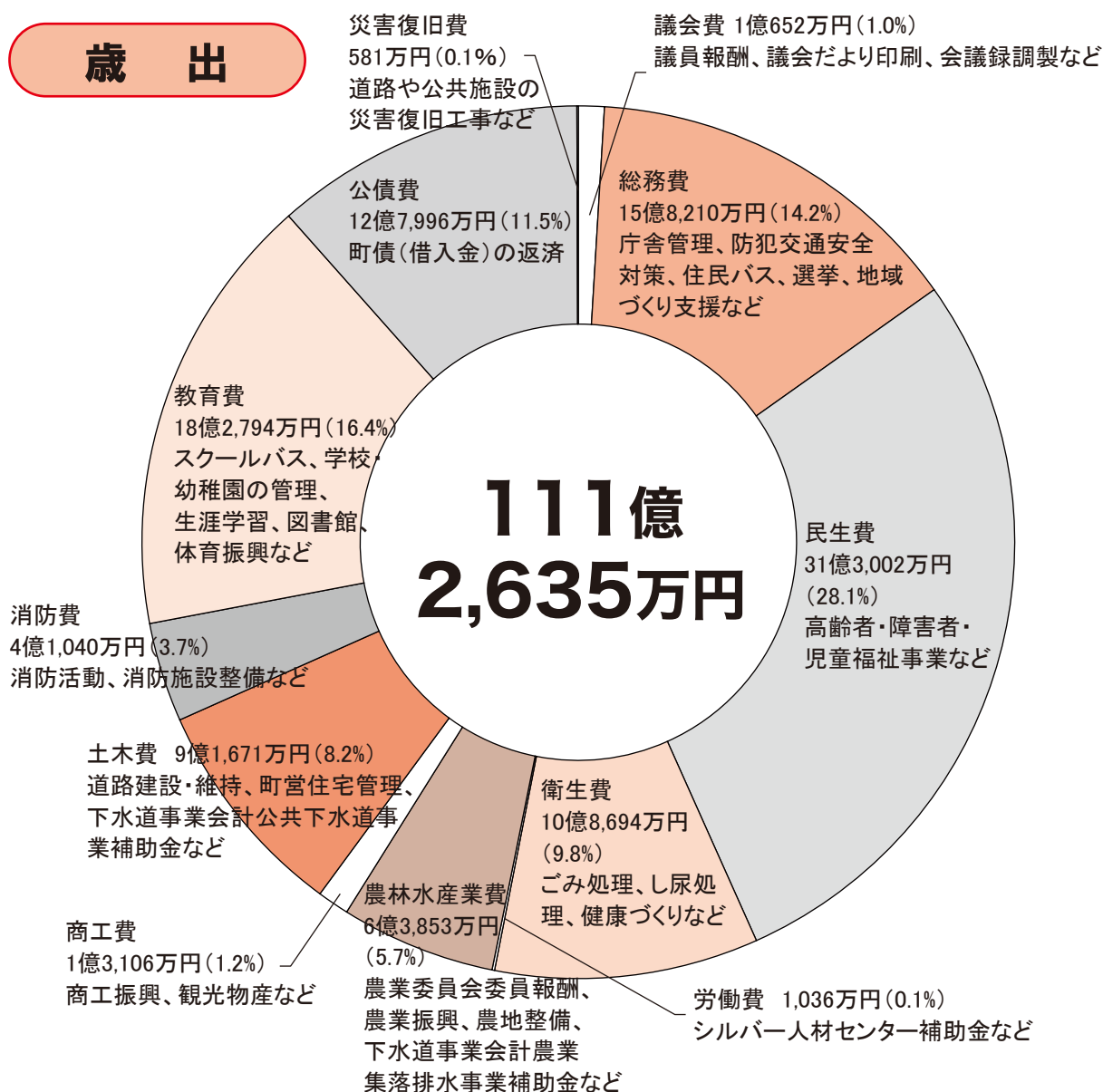


令和元年度 決算の概要

令和元年度の一般会計と各種特別会計の決算が、美里町議会 9 月会議において原案どおり承認されました。令和元年度の決算の概要についてお知らせします。

一般会計の決算



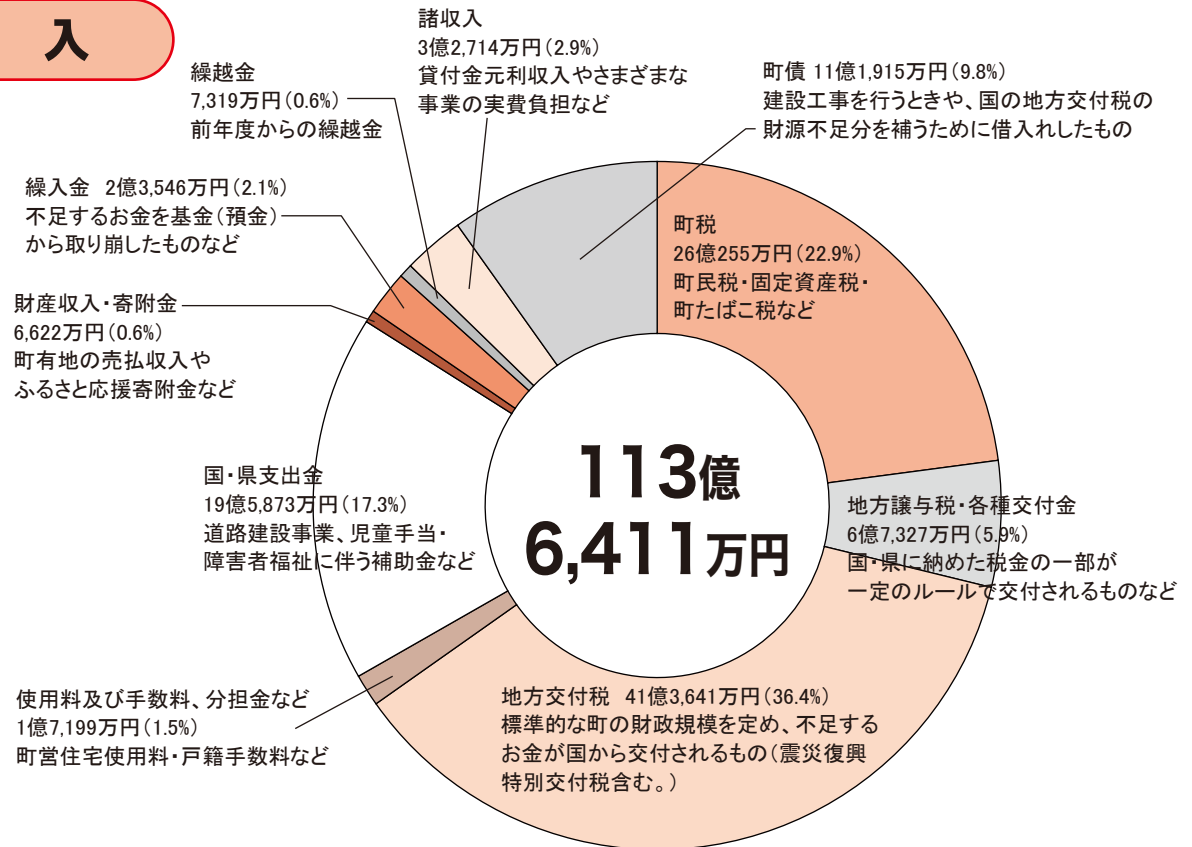
歳入歳出とも前年度より増加

令和元年度の一般会計の歳入決算額は113億6,411万円で、歳出決算額は111億2,635万円となりました。前年度と比較して歳入では3億4,931万円の増、歳出では2億8,474万円の増となりました。

子育て支援や新中学校整備の推進

令和元年度は、大規模な建設事業はありませんでしたが、働きながら子育てする家族を支援するため、民間の認可保育施設の整備費用を補助し、子どもの受け入れ先を拡充することで待機児童の減少に努めました。また、新中学校の用地測量、地質調査を実施し、新中学校整備の推進に努めました。

歳入



歳入のうち町税は26億255万円で、前年度と比較して268万円の微減となりました。地方交付税では、令和元年東日本台風の稲わら処理の財源として、特別交付税が大幅に増加しています。

令和元年度決算の実質収支額

歳入 113 億 6, 411 万円－歳出 111 億 2, 635 万円－繰越財源 5, 630 万円＝1 億 8, 146 万円

歳入から、歳出と繰越財源（次年度へ繰り越しすべき財源）を差し引いた実質収支額は、1 億 8, 146 万円となり、そのうち1 億円は、後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。

特別会計の決算

各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で 6. 9%の減、後期高齢者医療特別会計で 1. 0%の増、介護保険特別会計で 1. 4%の増となりました。

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	26 億 244 万円	25 億 7, 134 万円	3, 110 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 8, 940 万円	2 億 8, 859 万円	81 万円
介護保険特別会計	24 億 8, 350 万円	23 億 9, 510 万円	8, 840 万円

公営企業会計の決算

◇水道事業会計の決算状況

【収益的収支】	収入額	7 億 6, 878 万円（消費税等抜き 7 億 933 万円）
	支出額	7 億 2, 764 万円（消費税等抜き 6 億 8, 298 万円）
	差引額	消費税等抜きで 2, 635 万円の黒字
【資本的収支】	収入額	1 億 8, 811 万円
	支出額	4 億 441 万円
	差引額	2 億 1, 630 万円の不足

差引不足額については、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補てんしました。

◇病院事業会計の決算状況

【収益的収支】	収入額	6億5,475万円（消費税等抜き6億5,059万円）
	支出額	6億5,717万円（消費税等抜き6億5,333万円）
	差引額	消費税等抜きで274万円の赤字
累積欠損金の額は、4億9,943万円となりました。		
【資本的収支】	収入額	7,233万円
	支出額	1億2,352万円
	差引額	5,119万円の不足
差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。		

◇下水道事業会計の決算状況

【収益的収支】	収入額	9億3,151万円（消費税等抜き8億9,463万円）
	支出額	9億1,856万円（消費税等抜き9億226万円）
	差引額	消費税等抜きで763万円の赤字
【資本的収支】	収入額	9億7,826万円
	支出額	12億1,054万円
	差引額	2億3,228万円の不足
前年度同意済企業債6,090万円および翌年度へ繰り越される繰越工事資金2億6,848万円を除いた差引不足額5億6,166万円については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしましたが、なお不足する額については、令和元年度同意済企業債の未発行分で措置することとしています。		

町債の借入金・償還額・年度末残高

区 分	平成30年度末残高	令和元年度借入額	令和元年度元金償還額	令和元年度末残高
一般会計	110億1,415万円	11億1,915万円	12億1,456万円	109億1,874万円
水道事業会計	33億7,109万円	1億5,640万円	2億1,274万円	33億1,475万円
病院事業会計	5億2,167万円	1,100万円	1億382万円	4億2,885万円
下水道事業会計	69億7,334万円	6億1,330万円	6億314万円	69億8,350万円
合 計	218億8,025万円	18億9,985万円	21億3,426万円	216億4,584万円

一般会計の令和元年度末の町債残高は、平成30年度末残高に比べて9,541万円の減額となり、109億1,874万円となりました。このうち、地方財源の不足に対応するため、従来の交付税に代えて発行される臨時財政対策債の占める割合は45.6%となり前年度と比べて0.7ポイント減少しています。町全体の町債残高は、前年度と比べて2億3,441万円の減額となりました。

基金の年度末残高・増減額

区 分	平成30年度末の現在高 (A)	令和元年度末の現在高 (B)	増減額 (B) - (A)
一般会計 財政調整基金	11億984万円	10億6,722万円	△4,262万円
一般会計 減債基金	2億4,819万円	2億3,086万円	△1,733万円
一般会計 その他の基金	17億1,356万円	17億525万円	△831万円
国民健康保険特別会計 財政調整基金・出産費資金 貸付事業基金	9億2,615万円	9億2,774万円	159万円
介護保険特別会計 介護給付費準備基金	2億5,081万円	3億3,927万円	8,846万円
合 計	42億4,855万円	42億7,034万円	2,179万円

一般会計の基金現在高は減額となりましたが、国民健康保険特別会計と介護保険特別会計の基金現在高は増額となり、基金全体で2,179万円の増額となりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく 健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律は、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて健全化のための計画策定や行財政上の措置が講ぜられることを目的に制定されたものです。この法律の規定により、美里町の令和元年度の決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の算定結果についてお知らせします。

1 健全化判断比率

区 分	平成 30 年度	令和元年度	前年度対増減	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	—	—	—	14.08%	20.0%
連結実質赤字比率	—	—	—	19.08%	30.0%
実質公債費比率	8.9%	8.3%	△0.6	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率	40.1%	37.7%	△2.4	350.0%	—

◇実質赤字比率

一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

◇連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

◇実質公債費比率

町がその年度に返済すべき公債費等の金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります(25%超で黄信号、35%超で赤信号)。

◇将来負担比率

町が将来にわたって抱える負担すべき金額(町債の借入れやリース契約などで支払いが確定している金額)が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。(350%超で赤信号)。

2 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

本町の水道事業会計、病院事業会計および下水道事業会計すべてにおいて資金不足額はありません。

都市計画税の使い道（令和元年度都市計画税 9,675 万円）

町では、公園や街路、下水道など、都市計画事業に使用する目的で都市計画税を徴収しています。令和元年度は 9,675 万円を徴収し、都市計画事業 2 億 534 万円の財源の一部として使用しました。不足分は一般財源から支出しています。

都市計画事業	決算額
下水道事業会計への補助金 (これまで整備した公共下水道整備事業に係る町債償還金)	1 億 7,184 万円
これまで整備した都市計画事業に係る町債償還金	3,350 万円
合 計	2 億 534 万円